

第二十二回 京阪神三市聯合保育會提出遊戯及歌曲

(神戸市保育會の部)

(一) 人 形

幼児が人形を弄ぶ時又は子供を人形に擬したる時靜に此歌を唱はしむるは最も適當と信ずれども若し之を遊戯に用ひんには先づ幼兒を二組に分ち一組は人形となりて不動の姿勢を取り他は其人形と遊ぶ心持ちにて第一と第二の歌を唱ひ後ネジをかけ人形に生命を附與すれば第三の歌より人形は子供と共に活動し得るに至るといふ仕組。

人形已に生命を得たる後に於ては體操にても遊戯にても何にてもあれ子供と共に楽しく遊ぶは面白き事なり要するに此唱歌此遊戯は幼兒を自發的に靜肅ならしめて後活動せしめんとする時に用ふれば最可なるべし。

(へ調二拍子)				歌	曲							
$\frac{3}{2}$	$\frac{2}{1}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{3}{5}$	$\frac{5}{5}$	$\frac{5}{5}$	$\frac{5}{5}$	$\frac{6}{6}$	$\frac{5}{3}$	$\frac{3}{5}$	$\frac{0}{0}$	
キ	レ	イ	ナ	サ	ク	ラ	ノ	ハ	ナ	ヨ	リ	モ
$\frac{3}{2}$	$\frac{2}{1}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{3}{5}$	$\frac{5}{5}$	$\frac{6}{6}$		$\frac{3}{3}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{1}{0}$	$\frac{0}{0}$
ナ	ノ	ハ	ニ	ト	マ	ル	-	テ	フ	ヨ	リ	モ
$\frac{2}{2}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{3}{2}$	$\frac{2}{1}$	$\frac{3}{3}$		$\frac{5}{3}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{2}{0}$	$\frac{0}{0}$
ア	ナ	タ	ノ	オ	カ	ホ	ハ	ウ	ツ	ク	シ	イ
$\frac{3}{3}$	$\frac{3}{5}$	$\frac{5}{5}$		$\frac{3}{3}$	$\frac{1}{1}$	$\frac{1}{1}$		$\frac{2}{5}$	$\frac{4}{2}$	$\frac{2}{1}$	$\frac{1}{0}$	$\frac{0}{0}$
ア	ナ	タ	ハ	イ	ツ	モ	-	オ	ト	ナ	シ	イ

- 一、きれいな櫻の花よりも 菜の葉にとまる蝶よりも
あなたのお顔はうつくしい あなたはいつもおとなしく
- 二、あなたはどうしてもいほぬ あなたはどうも動かれぬ
わたしはあなたと話したい わたしはあなたと遊びたい
- 三、可愛いあなたをだつこして きれいなあなたをおんぶして
たのしくいつしに話ませう うたうていつしよに遊びませう

遊 戯 (子供と人形の二組に分ち互に向き合ひて列を作る)

- 一、きれいな櫻の花よりも (木の形花の形)
菜の葉にとまる蝶よりも (蝶の飛ぶ形及とまる形)
あなたのお顔はうつくしい (人形を指す)
あなたはいつもおとなしい (西手を膝におく)
- 二、あなたはどうしてもいほぬ (両手を口にあてる)
あなたはどうしても動かれぬ (両手を膝におく)
わたしはあなたと話したい (一同手をとり人形に向いて進む)
わたしはあなたと遊びたい (人形の前に至りて座す)
- 三、可愛いあなたをだつこして (人形をいだく)
きれいなあなたをおんぶして (人形を貢ふ)
楽しくいつしに話ませう (人形を貢ひながら)
うたうていつしよに遊びませう (一定の場所に集る)

(二) 鸚 鵡

(ト調二拍子) 歌 曲

5 5 5 5	1 1 1 2	3 2 1 3	5. 0	3 2 3
オ ト サ ン ト	オ カ サ ン ニ	イ タ ダ イ タ		ア ウ ム ニ

1 2 1 6	5 3 2 7	1. 0	2 2. 2	0 —
オ ト マ チ	オ シ ヘ マ	セ ウ	オ ト — サ ン	(オ ト ウ サ ン)

3 3 2 1	0 —	5 5 1 2	3 3 3 3	5 5 3 2
オ カ — サ ン	(オ カ ア サ ン)	ホ ツ チ ヤ ン	ダ ヤ ウ サ ン	ミ ナ ミ ナ

1. 0	0 —	0 —	0 —	0 —
ヨ ヲ	(ホ ツ チ ヤ ン ツ ヤ ウ チ ヤ ン ミ ナ ミ ナ ゴ キ ゲ ン ヨ ヲ)			

- 一、お父さんとお母さんにいたいた あうむに言葉を教へませう
お父さんお母さん 坊ちやん嬢ちやん皆々ごきげんよう
- 二、お話するのも面白い おどつて遊ぶも面白い
お父さんお母さん 坊ちやん嬢ちやん皆々ごきげんよう
- 三、いつのまにやら逃げ出した あうむはどこに野か山か
- 四、とうとう鸚鵡は見つかった うれしいうれいいうたひませう
お父さんお母さん 坊ちやん嬢ちやんごきげんよう

遊 戯 (二組に分れ一組は子供となり互に手をつなぎて 圓形となり一組は鸚鵡となり圓の中央にかゝむ 男女に分てば最も都合よし)

- 一、お父さんお母さんにいたいた (圓形の者は手を取り右の方向に行)
鸚鵡に言葉を教へませう (進中央の者はかゝみしまい静止)
お父さんお母さん (立上げて子供と鸚鵡交互に教へ)
坊ちやん嬢ちやん皆々ごきげんよう (教へらるい心持とて歌ふ)
- 二、おはなしするのも面白い (圓形の者は手を取り左行進)
おどつて遊ぶもおもしろい (圓形は拍手しつゝ足拍子をとる)
お父さんお母さん (子供とあうむ交互に歌ふ)
坊ちやん嬢ちやん皆々ごきげんよう
- 三、いつのまにやら逃げ出した (子供はかゝみて眠る)
あうむはどこかの野か山か (鸚鵡は静ににげ出す)
歌終りて子供は鸚鵡を逐ふ
捕ふればあうむを中央に連れ来る
- 四、とうとう鸚鵡は見つかった (鸚鵡を中央に入れ)
うれいいうれいいうたひませう (子供は圓形となる)
お父さんお母さん (圓形は拍手しつゝ足拍子をとる)
坊ちやん嬢ちやん皆々ごきげんよう (子供とあうむは交互に拍手しつゝ歌ふ)